

令和4年度 横浜市立本町小学校 第2回学校運営協議会 記録

日 時:令和4年9月9日(金) 13:10~14:40

1 授業参観(13:10~13:55)

2 協 議(14:00~14:40)

(1) 開会挨拶(校長)

(2) 協 議(委員名略)



・6年生の授業を見て、こんなにまちをよく見ているのだと思い、お礼を言いたくなった。町と学校で連携していかなくてはならないこともあるが、新型コロナウイルス感染症のために、行事が中止となってしまって、なかなかできない。野毛大道芸の中国雑技団だけは9月終わりに実施する予定。

・2年生の授業を見て、手を挙げて自分の言葉で発言できる子がたくさんいて、素晴らしいと思った。子どもが担任の先生と近い関係で言葉のキャッチボールをしていて良かった。4年生の授業のように、スポーツを新しく作ることは素晴らしいと思った。6年生は、多面的な意見が出ていて、こういう考え方をするのだなあと思った。今あるまちの活動を子どもたちがこのまま引き継いでいってほしい。

・先生と生徒が自由に授業を進める形は私が子どもの時にはなかった。こうやって学びを深めていくことをうれしく思った。2年生は、掃部山公園と良く触れ合って、歴史ある環境を学んでいる。こういう学習で、横浜のすばらしさが子どもたちにしみ込んでほしい。4年生は、新しい形のスポーツ、新しいことへの挑戦。互いの意見を尊重しながらやっていた。希望のある授業だと思った。

・5年前、本町小学校とみなとみらい本町小学校が別れる前の1年間、インパクトのある学びをしようと考えた。「人・もの・こと」という材がどれだけあるかがポイント。この地域には「人」も含めて材がいっぱいある。学校が別れる時に、もっと材から学べるものがあるのではないかという考えで研究が始まった。今日の授業はどれも地域の材があからさまに出る授業だった。授業の中で主体的・対話的で深い学びが見られてよかった。

・研究授業は、教員の授業力を向上させるため。今日の子どもの姿が色々なものを物語っている。子どもは課題を自分事として捉え、誰かのために一生懸命になっていた。6年生がまちのよさを話すときに何回も「人が優しい」と発言していた。子どもたちから「人が優しい」という言葉が出てくることが、隣の学校でも全然違うと思った。MM本町は、人にフォーカスしたときに「どこのだれ」と認識されている人が限られている。本町の強さだと思った。

・毎時間毎時間が勝負で、先生たちは大変だと思った。学年ごとに子どもの姿が違っていった。どの授業を見ても、子どもたちと先生が授業をつくっていると感じた。

・課題をクリアして子どもが達成していく姿が見られた。子どもたちの力を引き出す先生たちはプロだと思っ

た。いつもの授業参観は自分の子どもだけを見ているが、今日は違う見方ができた。

・夏休みのラジオ体操は、合計577名が参加してくれた。ありがとうございました。11月7日は、ミカン狩りを予定している。

(3) 今後の予定について

・第3回学校運営協議会;全職員が参加してグループ討議

～貴重なご意見を、ありがとうございました～

3 閉会挨拶